



以前は中から、夢を追いかけた。



今度は外から、夢を後押しする。

【連絡先】

(公財)日本水泳連盟 地域指導者委員会

Mail : jasfcoach1.2@swim.or.jp



「水泳指導者」養成講習 受講者募集

※申込方法などの詳細は、各都道府県の「水泳連盟・水泳協会」(右記)にお問い合わせください。



公益財団法人
日本水泳連盟
Japan Swimming Federation

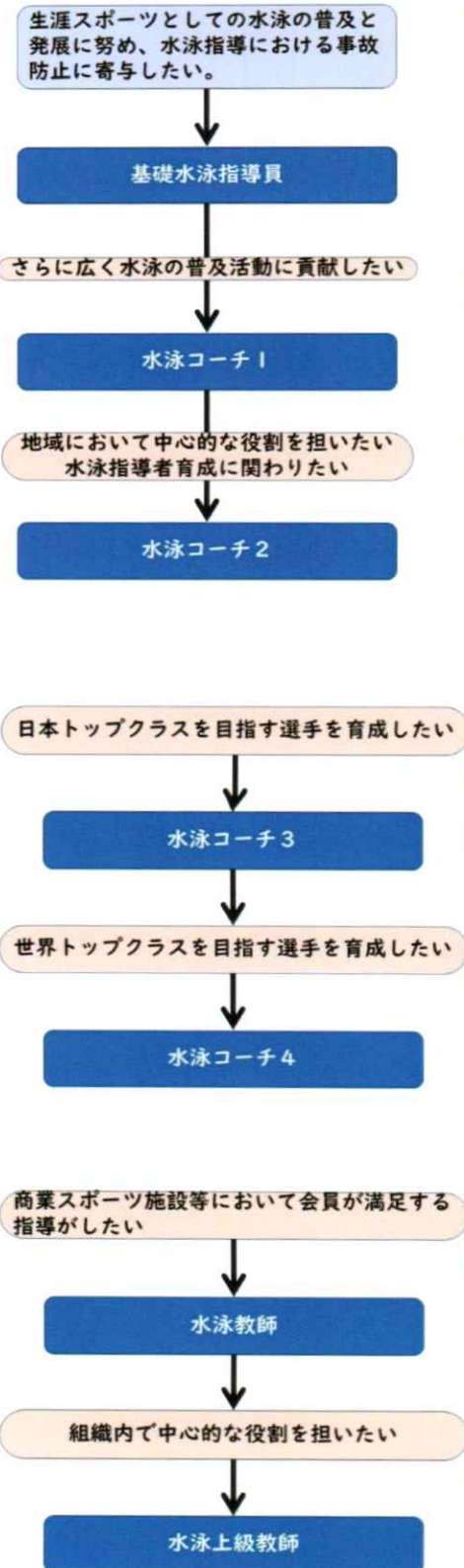
「水泳指導者」養成講習受講者募集について

日本スポーツ協会では、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するためスポーツの価値や未来への責任を自覚し、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることのできる「公認スポーツ指導者（水泳）」の養成を行っています。また、水泳に関する資格については、日本水泳連盟と連携をはかって指導者養成事業を実施しております。

ぜひ、水泳を愛する全ての皆様方と【ともに】水泳の力で、人も社会も元気にする仕組みを作っていきます。

水泳指導者資格フローチャート

本チラシは、水泳指導者資格の概略を記載したものです。詳細は、日本水泳連盟及び日本スポーツ協会のホームページを参照してください。



基礎水泳指導員

基礎水泳指導員は、「生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水泳指導における事故防止に寄与する。」とされています。

これから、水泳指導を始めようと考えている方は、その基礎的な資格となる当該資格の取得を検討してください。
※この資格は、水泳コーチ1（指導員）の資格を取得する際に、専門科目に相当するものとして認定され、水泳コーチ1養成講習の専門科目の講習・試験免除が適用されます。

水泳コーチ1

水泳コーチ1（指導員）は、「水泳指導に関する基礎的な知識・技能を有し、初心者から都道府県大会レベルの選手を指導するほか、地域スポーツクラブや公共団体等が主催する水泳指導事業に協力する。」とされています。

水泳コーチ2

水泳コーチ2（上級指導員）は、「水泳指導に関する専門的な知識・技能・応用力を有し、初心者から市区町村大会・都道府県大会レベルの選手までを指導の対象とするほか、地域スポーツクラブや公共団体等が主催する水泳指導事業において中心的な役割を担う。」とされています。

※水泳コーチ2（上級指導員）の資格を取得するためには、受講年度の4月1日現在で満25歳以上であり、コーチ1（指導員）資格取得後2年以上の経験を有する者とされています。

水泳コーチ3

科学的・合理的な水泳指導理論を身につけており、競技者の発掘・育成・指導に当たることのできる能力を備えたものであることを日本水泳連盟が公認したコーチをいいます。またジュニア遠征派遣コーチは、この資格が必要となります。

水泳コーチ4

豊かな実戦経験あるいは優秀競技者・チーム等の育成実績をもち、かつ高度な専門知識・技量・指導力を有し日本を代表する競技者の育成・指導の経験を有するとともに、人格・識見とも優れた日本を代表するコーチとして日本水泳連盟が公認したコーチをいいます。またジュニア遠征派遣ヘッドコーチおよびナショナルチーム遠征派遣コーチは、この資格が必要となります。

水泳教師

商業スポーツ施設等において、水泳の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性格、技能レベルやニーズ等に合わせたサービスを提供します。

水泳上級教師

水泳教師に加え、各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定等組織内指導者の中心的役割を担う。地域スポーツ経営のためのコンサルティング並びに経営受託の企画・調整を行う。